

News Letter

日本精神障害者リハビリテーション学会

ともに創る、ともに暮らす

- 01 日本精神障害者リハビリテーション学会
第30回岡山大会のご案内
 - >> 大会プログラム
 - >> 参加案内
 - >> 岡山大会 研修セミナー案内
 - >> 心理教育・家族教室ネットワーク共催シンポジウム
- 02 関連団体のイベントのご案内

2023年10月発行

VOL. 62



【事務局】 〒115-8560 東京都北区赤羽台一丁目7番11号
東洋大学福祉社会デザイン学部 WELLB HUB-2 20901 研究室（吉田研究室）
<https://japr.jp> Mail : japr.jimukyoku@gmail.com

01 / 日本精神障害者リハビリテーション学会 第30回岡山大会のご案内



大会長 山田 了士

この度、日本精神障害者リハビリテーション学会 第30回岡山大会を 2023年12月2日(土)、3日(日)の2日間、倉敷市芸文館にて開催させていただきますことになりました。大会テーマは「暮らしのためのリハビリテーションを問い直す」といたしました。30回の節目という記念大会を担当させていただくこと、まことに光栄なものと存じます。私自身含め今回の主催者は本学会に貢献してきたわけではございませんが、手探りながら理事会はじめ多くの皆さまのお力添えを頂いて、是非意義ある大会にしていきたいと存じております。

リハビリテーションは暮らしに繋げていくも

のであることは疑いないところですが、その目指すところの暮らしとは一体どのようなものなのかという問いがあります。精神科リハビリテーションは、一方では自立した生活を目指す動的な復活への道であり、また他方では安心できる居どころを見つけるための静的な安定への道でもあるでしょう。実際の患者さんの個々の目標は、それら静と動の間のグラデーションの中のどこかにあって、時と状況によって常に変わっていきます。医療や福祉の提供者は、個々の患者さんについて事情を聞いた上で方策を考えるわけですが、ややもすると物語を勝手に作り上げて納得し、固定した物語の方を患者さん自身より(悪意なく)優先してしまうこともあるかもしれません。さらに、医療や福祉には、活動を続けるために無視できないあれこれの都合があり、それが患者さん本来の目標と齟齬を生じることもあります。こうした色々な問題を「問い直す」機会として、特別講演、

暮らしのためのリハビリテーションを問い直す

会 期 2023年12月2日(土)・3日(日)
会 場 倉敷市芸文館(岡山県倉敷市中央1-18-1)
大会長 山田 了士(岡山県精神科医療センター 副理事長)
副大会長 武田 俊彦(公益財団法人慈圭会 慈圭病院 院長)
 小林 隆司(兵庫医科大学リハビリテーション学部 作業療法学科 教授)
 進藤 貴子(川崎医療福祉大学 臨床心理学科 教授)
実行委員長 來住 由樹(岡山県精神科医療センター 院長)

<https://med-gakkai.jp/30japr/>



■主催事務局 地方独立行政法人 岡山県精神科医療センター 〒700-0915 岡山県岡山市北区鹿田本町3-16 Tel:086-225-3821
 ■運営事務局 株式会社メッド 〒701-0114 岡山県倉敷市松島1075-3 Tel:086-463-5344 Fax:086-463-5345 E-mail:30japr@med-gakkai.org

教育講演、シンポジウム、自主プログラム、研修セミナー、一般演題など、当事者の方々のご助力もいただきながら魅力的なプログラムを作って参りたいと思います。

会場の倉敷市芸文館は、倉敷美観地区に隣接しており、日本最初の私立西洋美術館である大原美術館や、倉敷アイビースクエアなど観光資源が豊富な立地にあります。是非空き時間に付近を散策して、リフレッシュしていただければと思います。

2020年から本学会はオンラインのみの開催でありましたが、今回は3年ぶりに現地での開催といたします。時勢を語るに際して「先行き不透明」という言い回しは陳腐なほど使われてきましたが、今ほど不透明な時期は生まれてこの方経験がないように思います。そうした中であるからこ

そ、皆さまと対面でお会いし親睦を深めるという、そのことだけでも、暗い世の中的一条の光となってもらえたらと切に願う次第です。

どうぞ、皆さまにおかれましては、会員非会員問わず奮ってご参加いただき、倉敷でお目にかかれまことを主催者一同心より願っております。



≫ 大会プログラム

特別講演

なぜアナキズムが求められているのか（仮）

演者 松村圭一郎（岡山大学大学院社会文化科学研究科 准教授）

対談者 井上雅雄（岡山パブリック法律事務所 所長／弁護士）

座長 山田了士（岡山県精神科医療センター 副理事長）

会長講演

暮らしのためのリハビリテーションを問い直す（仮）

演者 山田了士（岡山県精神科医療センター 副理事長）

座長 安西信雄（帝京平成大学大学院臨床心理学研究科 教授）

学会理事会企画シンポジウム

学会30年を振り返って

演者 後藤雅博（こころのクリニック ウイズ）
岩崎香（早稲田大学）、佐藤さやか（国立精神・神経医療研究センター）、岡田久実子（全国精神保健福祉会連合会）

指定討論者 宇田川健（地域精神保健福祉機構 COMHBO）

座長 池淵恵美（日本精神障害者リハビリテーション学会 会長）、吉田光爾（東洋大学大学院ライフデザイン学研究科）



大会シンポジウム

暮らしのためのリハビリテーションを問い直す ～リカバリーとリハビリテーション

シンポジスト 増川ねてる（アドバンスレベルWRAP@ファシリテーター）、山田悠平（一般社団法人精神障害当事者会ポルケ 代表理事）、小林隆司（兵庫医科大学リハビリテーション学部作業療法学科 教授）、山口創生（国立精神神経医療研究センター精神保健研究所 室長）

座長 来住由樹・黒岡真澄（岡山県精神科医療センター）

野中賞・IPPO賞 受賞講演

10月中旬頃に受賞者・団体決定

教育講演 1

認知リハビリテーション（仮）

演者 兼子幸一（社会医療法人仁厚会医療福祉センター倉吉病院 院長／鳥取大学 名誉教授）

座長 松田康裕（地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪精神医療センター地域連携部 部長）

教育講演 2

リカバリーを目指す認知療法～認知行動療法の 新たな展開

演者 耕野敏樹（岡山精神科医療センター）

座長 武田俊彦（公益財団法人慈圭会慈圭病院 院長）

イブニングセミナー

「ひきこもり」について一緒に考えよう～対話的 支援から見えてくること

演者 齋藤環（筑波大学大学院人間総合科学学術院社会精神保健学分野 教授）

研修セミナー（学会企画）

基礎から学ぶ精神疾患とケア

講師 植田俊幸（鳥取県厚生病院・精神保健福祉センター）

座長 内野俊郎（久留米大学医学部神経精神医学）

研修セミナー（研修委員会企画）

認知行動 SST を学ぶ

講師 天笠崇（静岡社会健康医学大学院大学）

座長 浅見隆康（群馬大学健康支援総合センター）

研修セミナー（大会企画）

マッピングを用いた依存症支援

講師 橋本望・江村直樹・青木一真（岡山県精神科医療センター）

座長 高木学（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経病態学教室 教授）



学会特別研修セミナー

鼎談：精神障害者リハビリテーション学会発足時の「初心」と「展開」—約30年の歴史をキーパーソンが語り合う

演者 安西信雄(帝京平成大学大学院臨床心理学研究科)、松為信雄(神奈川県立保健福祉大学 名誉教授)、田中英樹(早稲田大学人間科学学術院 名誉教授)

進行 樽谷精一郎(新阿武山病院)、吉田光爾(東洋大学大学院ライフデザイン学研究科)

県民公開講座

第1部 講演 統合失調症がやってきた

お笑いコンビ 松本ハウス

第2部 パネルディスカッション 「何とかならない」からはじまる 僕の人生デザイン

お笑いコンビ 松本ハウス(松本キック・ハウス加賀谷)、増川ねてる(アドバンスレベル WRAP @ファシリテーター)

司会進行 塚本千秋(岡山大学大学院社会文化科学研究科 教授)、後藤貴子(川崎医療福祉大学臨床心理学科 教授)

日本精神障害者リハビリテーション学会第30回岡山大会

県民公開講座

テーマ

統合失調症が
やってきた
お笑いコンビ 松本ハウス

講師
パネリスト

お笑いコンビ 松本ハウス

1991年に結成し、数多くのバラエティ番組に出演するなど活躍。しかし、1999年ハウス加賀谷氏の統合失調症の療養を理由に活動休止。その後2009年にコンビの活動を再開している。

心理教育・家族教室ネットワーク シンポジウム

心理教育からの展開～ご本人・ご家族とともに～

演者 三野善央(みのクリニック)、柏原謙造(岡山心理教育研究会/万成病院 作業療法士)、片岡公子(家族会「ま♡いっかの会」代表/家族ぴあ岡山 代表)、雨宮悦恵(あかいわ市家連 会長/もえぎの里家族会 会長)

座長 内野俊郎(久留米大学医学部神経精神医学)、中岡恵理(希望ヶ丘ホスピタル 臨床心理士/公認心理師)

ランチョンセミナー1

患者さんの主体性(したい性)を重視した取り組みとLAIのメリット

演者 肥田裕久(医療法人社団宙麦会ひだクリニック)

座長 石原武士(川崎医科大学精神科学教室教授)

共催：ヤンセンファーマ株式会社

ランチョンセミナー2

演題1 ピアスタッフが精神科病院で働くために

演者 とつき～(社会医療法人智徳会未来の風せいわ病院 精神保健福祉士)

演題2 就労支援施設におけるVRトレーニングの実践

演者 芳賀大輔(就労移行支援 ONE MORE 豊中)

座長 丹羽真一(公立大学法人福島県立医科大学会津医療センター精神医学講座 特任教授/SST普及協会 会長)

共催 大塚製薬株式会社

展示企画

1. 長島愛生園（岡山県瀬戸内市）の紹介

長島愛生園の歴史、ハンセン氏病療養者の生活、
同園で勤務した精神科医神谷美恵子氏



2. 活動紹介ブース（当事者活動、自助グループ、
医療・福祉機関の活動） 40団体の活動紹介

一般演題（ポスター）・自主企画

- ・一般演題（ポスター） 73 演題
- ・自主企画 18 演題

≫ **タイムテーブル**（自主プログラムの日程は調整中です）

	1日目 (12/2)			2日目 (12/3)		
	ホール	アイシアター	ホールロビー1	ホール	アイシアター	ホールロビー1
9:00						
9:15	・開会式			・学会理事会企画シンポジウム 学会30年を振り返って	・研修セミナー (研修委員会枠) 認知行動SSTを学ぶ	
9:30	・大会長講演					
9:45						
10:00						
10:15						
10:30	・大会シンポジウム 暮らしのためのリハビリテーションを問い直す～ リカバリーとリハビリテーション		・ポスター演題 ・活動展示 ・企画展示			・ポスター演題 ・活動展示 ・企画展示
10:45						
11:00						
11:15						
11:30						
11:45						
12:00						
12:15		・ランチョンセミナー (ヤンセンファーマ株式会社)	・活動展示セッション ※発表者は展示ポスター前に待機	学会特別研修セミナー鼎談：学会発足時の「初心」と「展開」一約30年の歴史をキーパーソンが語り合う	・ランチョンセミナー (大塚製薬株式会社)	
12:30						
12:45						
13:00			・ポスター演題セッション ※発表者はポスター前に待機			
13:15						
13:30				県民公開講座 第1部 講演「統合失調症がやってきた」 第2部 パネルディスカッション「何とかならない」からはじまる僕の人生デザイン		
13:45						
14:00	・教育講演Ⅰ リカバリーを目指す認知療法		・研修セミナー (学会枠) 基礎から学ぶ精神疾患とケア	・閉会式		・心理教育・家族教室 ネットワークシンポジウム 心理教育からの展開～ご本人・ご家族とともに～
14:15						
14:30						
14:45						
15:00	・「野中賞・IPP0賞」 受賞記念講演		・ポスター掲示			
15:15						
15:30						
15:45						
16:00						
16:15	・特別講演 なぜアナキズムが求められているのか					
16:30						
16:45						
17:00						
17:15						
17:30						
17:45	・イブニングセミナー 「ひきこもり」について一緒に考えよう	・研修セミナー (大会枠) マッピングを用いた依存症支援				
18:00						
18:15						
18:30						
18:45						

プログラムは大会 HP でもご覧いただけます。
<https://med-gakkai.jp/30japr/pro/>

》 参加案内

今大会はすべてのプログラムを現地開催いたします。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

参加費について

参加区分	事前 参加登録	当日 参加登録
学会会員	9,000 円	10,000 円
一般（非会員）	10,000 円	11,000 円
地元支援者※	5,000 円	6,000 円
当事者・家族 ・学生	3,000 円	3,000 円

※地元支援者は、岡山県内の行政等関係者、または事前に主催事務局よりご案内のあった方が該当します。

参加登録期間

現在ホームページで参加登録を受付けております。銀行振込は11月17日（金）まで、クレジット決済は12月3日（日）会期終了までお支払い可能です。



》 岡山大会 研修セミナー案内

研修委員会 浅見隆康

岡山大会では研修セミナー、学会特別企画研修セミナーを行います。奮ってご参加ください。

1 研修セミナー

今回も前年と同様に、3つのセミナーを企画しました。一つは、より多くの学会員に対し必要と思われるもの（研修セミナー1）、一つは学会員の対象は限定されるが、研修委員会として研修が必要と思われるもの（研修セミナー2）、さらに大会を開催する側から、必要と判断されたもの（研修セミナー3）です。各セミナーを紹介しますが、詳しくは大会ホームページをご覧ください。

研修セミナー 1

テーマ：基礎から学ぶ精神疾患とケア

講師：植田俊幸先生

所属：鳥取県厚生病院・精神保健福祉センター

講師は、「図解でわかる対人援助職のための精神疾患とケア」(中央法規、2022年)の著者です。構成がよく、1章で精神疾患を紹介し、2章では症状と対応を説明し、3章で薬物療法に触れています。見開き1ページで、1つの事柄が図解入りで、コンパクトに記載されており、3章まで読み進めると精神疾患の全体像を捉えることができます。4章以降では、様々な治療法、ケアに携わる人や場所、制度などが紹介され、この領域で働いている人であれば、改めて働く意味を感じ取ることができます。最後の章（7章）でキーワー

ドが紹介されて、次の学びに自然と誘われるような内容となっています。

講師はこれまでも当学会学術集会の際に行われる研修セミナー講師を何度も担当されて来られました。このセミナーで、精神疾患とケアについて、基礎から学んでみませんか。

研修セミナー 2

テーマ：認知行動 SST を学ぶ

講師：天笠崇先生

所属：静岡社会健康医学学院大学／代々木病院精神科

エリック・ヒ・グランホルムらは CBSST プログラムを開発しました。CBSST とは、Cognitive-Behavioral Social Skills Training の略です。生活・教育・仕事・対人交流にかかわるリカバリーを目標とし、CBT、SST、問題解決技能トレーニングを統合したプログラムです。技能中心の単純化された治療・支援として設計されており、支援者は実施しやすく、参加者は理解しやすい内容です。グループ、個別、地域でのケースマネジメントの中でも実施できます。

講師は、長年にわたり一般社団法人 SST 普及協会事務局長の重責を担い、SST の普及に貢献されて来られました。さらにグランホルムらの本（Cognitive-Behavioral Social Skills Training for Schizophrenia）を、認知行動 SST（星和書店、2019）として出版した共同翻訳者のお一人です。このセミナーで CBSST の一端に触れ、日頃の業務に役立つ気づきが得られることを期待しています。

研修セミナー 3

テーマ：マッピングを用いた依存症支援

～ともに描く、回復への地図～

講師：橋本望先生、兼信宏恵先生、槇平成子先生

青木一真先生、吉國寛人先生、江村直樹先生

所属：岡山県精神科医療センター

大会実行員会による研修セミナーです。依存症をテーマに研修セミナーを行う初めての機会と理解しています。学会開催地の岡山県では、従来から依存症対策を積極的に進めてきました。大会を主催する岡山県精神科医療センターでは「マッピングによる」支援を行っています。この支援方法について紹介し、参加者みなさんとともに学び合う機会を提供します。この依存症支援では、マッピングと言われるマニュアル化された介入ツールを活用しています。視覚化されたシンプルなツールでありながら、有用とされる心理社会的な治療要素が取り入れられており、支援者の経験値に左右されることなく、当事者のリカバリーに繋げる手法としても有用であることがわかっています。ワークショップ形式による参加者体験型の企画です。皆様の参加をお待ちしています。



2 学会特別企画研修セミナー

テーマ：鼎談：精神障害者リハビリテーション学会発足時の「初心」と「展開」一約 30 年の歴史をキーパーソンが語り合う

進行：樽谷精一郎先生（新阿武山病院）、吉田光爾先生（東洋大学福祉社会デザイン学部 東洋大学大学院ライフデザイン学研究科）

講演者：安西信雄先生（帝京平成大学大学院臨床心理学研究科）、松為信雄先生（神奈川県立保健福祉大学名誉教授）、田中英樹先生（早稲田大学人間科学学術院名誉教授）

私たちの学会は 1998 年（平成 7 年）11 月 18 日に創立され、今年で 28 年になります。次第に学会創立のいきさつをご存じない会員が増えていられると思いますが、実は学会の理事会も世代交代の時期を迎えています。池淵恵美学会長は、学会は新しい世代への「バトンタッチのタイミング」を迎えていると述べておられます。

そこで今回、本学会創立前後から学会活動に参加し、中心となって学会を支えてこられた 3 名のキーパーソンからお話をうかがう機会を設けました。本学会推薦テキスト「精神障害者リハビリテーション学」の編集に携わられた方々でもあります。

先日打ち合わせ会議を行い、下記のテーマで鼎談していただくことになりました。学会発足とその後の展開について、4 つのステージ（テーマ）に沿って討論を展開します。講演は短くして、鼎談の形で、自由に意見を述べ合う形で、学会発足

時の「初心」からその後の「展開」を熱く（！）振り返りたいと思います。多くの皆様のご参加をお願いいたします。

なお今回のセミナーは 60 分ですので語りつくせないことがあると考えています。続といった形で再度企画する予定です。

1. 学会設立前の状況はどうだったかー設立に向かうニーズは何だったのか
2. 学会設立前の「研究会」時代に議論されたことは何だったか
3. 学会設立の理念と合意事項ー多職種共同とリカバリーの意義は何だったか
4. 学会設立後の初期のエピソードと展開（設立～板橋学会まで）



➤ 心理教育・家族教室ネットワーク共催シンポジウム

テーマ：心理教育からの展開～ご本人・ご家族とともに～

家族の誰かが精神疾患に罹ると、周囲の人たちもご本人と同じように悩み、苦しみます。そうした苦悩の改善のために、職種を超えて地域や病院で働く医療専門職として、そして、ご家族たち自身も…それぞれができることを模索します。こうした状況は、日本国内のあちこちで見られますが、岡山ではちょうど10年前に心理教育家族教室ネットワークの研究集会を開催して以降、単に心理教育的な実践を行うだけでなく、試行錯誤しながら

らもさまざまな取り組みにつながっていきました。本シンポジウムでは、岡山県内で活躍する医師・メディカルスタッフの組織、家族会のメンバーたちが歩んできた道のりや、抱えて来た想いを発信します。みなさまと一緒に、これまでの家族支援・心理教育について振り返り、今後の支援の在り方を一緒に考える時間にしたいと思います。

【座長】

内野 俊郎（久留米大学病院臨床研修センター/久留米大学医学部神経精神医学）

中岡 恵理（希望ヶ丘ホスピタル）

【シンポジスト】

三野 善央（みのクリニック）

柏原 謙造（万成病院/岡山心理教育研究会）

片岡 公子（家族会『ま♡いっか』の会/家族ぴあ岡山）

雨宮 悦恵（あかいわ市家連/もえぎの里家族会）

【リフレクティングメンバー】

後藤 雅博（こころのクリニック ウィズ）

高橋 美久（株式会社 MARS 就労継続支援 B 型事業所 TERRA）

精神障害者リハビリテーション学会第30回岡山大会では、「暮らしのためのリハビリテーションを問い直す」というテーマで、その他にも様々な企画が準備されています。

精神保健医療福祉の従事者、ご家族という立場の方、病気を持つご本人…

それぞれの立場でリカバリーのための学びを得に、ぜひ岡山にお越しください



02 / 関連団体のイベントのご案内

SST 普及協会 第27回学術集会 in 金沢

主 催：一般社団法人 SST 普及協会

共 催：SST 普及協会 北陸支部・南関東支部

テーマ：わかる、伝わる、つながるソーシャルスキルーSST で新しい時代を拓こう

日 程：2023年12月16日（土）14:00～17:00・12月17日（日）9:30～17:00

会 場：石川県地場産業振興センター（金沢市鞍月2丁目1番地）

<https://www.isico.or.jp/site/jibasan/>

大 会 長：菊知 充（金沢大学 精神行動科学講座教授）

実行委員長：加瀬 昭彦（横浜舞岡病院院長）

副実行委員長：角田 雅彦（石川県こころの健康センター所長）

パネルディスカッション「これからのSSTに望まれるものーわかる・伝わる・つながる力を高める」ほか

<https://27th-gakkai.jasst.net/>

第8回 IPS 全国研修会 東京大会

主 催：日本IPSアソシエーション

テーマ：希望に基づく就労支援～IPSを多くの人に届けるために

日 程：2024年3月17日（日）9:00～17:00

会 場：東洋大学赤羽台キャンパス（東京都北区赤羽台1丁目7-11）

<https://www.toyo.ac.jp/nyushi/about/campus/akabanedai/>

大会長：中原里美（桜ヶ丘記念病院）

注目セッション：

「お仕事探しをワクワクしながら考えよう！」

「伴走型就労支援・IPSの今後に向けて」など

お問合せ：jipsa.higashinihon@gmail.com



編集後記

今号は岡山大会の最新情報を満載して届けします。「暮らしのためのリハビリテーションを問い直す」をテーマとした豊富なプログラム・コンテンツに加えて、4年ぶりとなる対面大会ならではの五感を使った交流ができることも魅力的です。また、水運が盛んな港町として栄えた倉敷の風情ある景観、美術館やカフェ、ショップが立ち並ぶ美観地区、ジーンズストリートなど、オフの楽しみも充実しています。皆様もぜひご参加ください。私も今から楽しみにしています。

広報委員会では昨年度から当学会のロゴマークの作成に取り組んでいます。公募した図案から、最後に会員投票により学会ロゴマークを決定したいと思います。皆様のお手元に「学会ロゴマーク会員投票のお知らせ」をお届けしましたので、ぜひご投票ください。決定した学会ロゴマークは岡山大会で発表いたします。その他、今年度は学会を紹介するリーフレットの作成にも取り組んでいまして、年度内には形にしたいと考えています。

学会のホームページやニュースレター発行をはじめとした広報委員会の活動について、ご意見やご感想をいただければ幸いです。引き続きどうぞよろしく願いいたします。

(広報委員 大石)

News Letter

VOL.62

2023年10月発行

日本精神障害者リハビリテーション学会

【事務局】

〒115-8560 東京都北区赤羽台一丁目7番11号

東洋大学福祉社会デザイン学部 WELLB HUB-2 20901 研究室（吉田研究室）

<https://japr.jp> Mail : japr.jimukyoku@gmail.com